

2022年(令和4年)  
8/1号

発行日/毎月2回(1日、15日)

町田  
広報

# まちだ

第1985号

新型コロナウイルス  
感染症特設ページ



発行 町田市 編集 政策経営部広報課  
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22  
市役所の代表電話 042-722-3111  
市役所の窓口受付時間 午前8時30分～午後5時  
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>  
(記載がない場合の市外局番は(042)です)

町田市  
ホームページ



今号の紙面から ● 3面 「まちだ未来づくりプラン」及び「町田市5ヵ年計画17-21」の取り組み結果



今も未来も大切に  
町田市のSDGs



## まちだの 生きもの みつけたい!

トンボ  
クイズ  
答えは2面へ

第1問  
このトンボの名前はな〜んだ?

トンボ  
みつけた

第2問  
成虫で冬を越すトンボはいる?

市内には、源流や里山を始めとする自然環境があり、さまざまな生きものが暮らしています。市は、将来にわたって、生きものと私たちが豊かに共生していくことができる環境づくりを目指しています。この夏、皆さんの周りの身近な自然や生きものに触れ合っ、生きものも私たち人間も暮らしやすい環境について考えてみませんか?

問 環境共生課 ☎724・4391

### トンボからみた生きものとの共生

市内ではいろいろな種類のトンボを見ることができます。今回は、トンボに詳しい日本トンボ学会会員の喜多英人さん(写真左)と、森林インストラクターの池田倫子さん(写真右)にお話を伺いました。

町田市には何種類のトンボがいるの?

66種類確認されています(2022年7月現在)。これは、東京都の市区町村別の記録としては八王子市に次いで2番目に多い数です。

トンボにとって理想的な環境ってどんなところ?

トンボの幼虫は水中生活を行います。種類によって好む水辺環境が異なり、多様性のある水辺環境があると、たくさんのトンボが見られます。

生きものとの共生の状況はどうなっているの?

私たちの活動は環境にさまざまな影響を与えてしまいます。そのため、開発や温暖化、外来種の拡大などによって棲みにくくなってしまった生きものもいます。多くの生きものと私たち人間がうまく共生できるよう、里山の保全やビオトープ(生きものが住んでいる樹林や草地、水辺など)の創出など新たな環境への取り組みも行われるようになってきています。

私たちにできる取り組みってどんなこと?

多様な生きものが暮らせる多様な環境を守ること。それにはまず、生きものを見て知り、好きになること。愛おしさが生まれると、目ざと生きものが住む環境も守りたいという気持ちが生まれます。市内の自然や生きものに触れてみましょう。

### まちだのトンボ教室

もっとトンボを知りたい方のために、トンボの話と昆虫観察会を組み合わせたいイベントを行います。皆さんのいろいろな疑問にお答えします。

対象 市内在住の小学5年生以上の方  
(小学生は保護者同伴)  
日時 9月3日(土)午前10時～正午

会場 忠生公園  
講師 喜多英人氏、池田倫子氏  
定員 30人(抽選)

申込方法 8月2日正午～10日にイベントダイヤル(☎724・5656)またはイベシスコード220802Eへ。

2面でもっとまちだの生きものを探してみよう!

# 『生物多様性』って何だろう？

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。生物多様性によってもたらされる自然の恵み(食料や大気、水、気候の安定など)は、私たちの命や暮らしを支えています。

施策の推進を図る中で、生物多様性の保全、自然や生きものとの共生を進めるための取り組みを行っています。また、市民が主体となったさまざまな取り組みも行われています。

問 環境共生課 ☎724・4391

## 活動紹介 市民が主体のつくし野ビオトーププロジェクト

つくし野ビオトーププロジェクトは、地域の子どもたちに、身近に残された自然や生きものと触れ合う実体験プログラムを提供し、さまざまな命や環境の大切さを学ぶ活動をしています。畑での継続した作物栽培、森での学習や遊び、プールのヤゴ救出など多様に実施しています。



活動の様子は  
こちら

## 活動団体の小池常雄さんにお話を伺いました

子どもたちに自然や生きものとの共生を伝えていくうえで、意識していることはありますか？

地球はヒトだけの物ではない、生きものすべてがたった一つだけの地球という宇宙船に乗る乗組員だと子どもや保護者に伝えています。私たちは普段から、空気を吸い、食べ物を食べ、自分の命を保っていますが、これらはすべて地球のさまざまな環境や生きものの恩恵です。自分の命が、何に支えられているのかを知ることが大切です。活動では、身近な生きものの飼育方・注意点なども丁寧に教え、生きものと接する方法を支援しています。

### 自然や生きものと、共生していくために

私たちが住む町田市は、大都市郊外にある都市であり、身近な自然環境が都心に比べればはるかに豊かです。市街地や住宅の中でも、多様な生きものがヒトの営みや、ヒトが作った環境をうまく使いながら暮らしています。それらを、家庭や学校、地域で知り接する実体験の中で経験し、感じる事が大切です。



## 参加者の声

活動を通じて、虫や鳥が大好きになりました。

自分たちで畑に苗を植えるところから収穫まで体験することができて、生物や自然のことも楽しく分かりやすく学べます。

生きものと触れ合うと自分が優しい気持ちになり、人に対しても優しくできるような気がします。

持ち帰ったヤゴが全部トンボになれるわけではないので、飛んでいるトンボはとっても大事なんだ。来年も子孫に会えるように、水辺をきれいに保ちたいと思いました。

## その他の取り組み

他にも市内各地域で、生きものやそのすみかを守る活動を行う団体があります。



詳細はこちら

## 動画で知ろう

町田市公式動画チャンネル「生きものとの共生を目指して」で、市内の生きものやそのすみかを守る活動の様子を紹介しています。



詳細はこちら

## イベント まちだで見つけよう！夏の生きもの探しキャンペーン♪

紹介 ～ミッションをクリアし、報告せよ

市では、スマートフォン専用アプリ「まちピカ町田くん」を使用し、皆さんから野生の生きものの写真と位置情報を投稿していただく調査を行っています。

期間中、出題しているミッションの生きものを撮影し投稿した方の中から、抽選で50人に記念品を差し上げます。  
※ルールやマナーを守って撮影しましょう。



### ミッション

- A まちだのトンボを探せ！
- B キラキラ、びかびか、ツツツヤ…輝く生きものを探せ！

参加方法 「まちピカ町田くん」を使って、生きものの写真と見つけた場所の写真をセットで報告。  
※詳細は市HP(右記二次元バーコード)をご覧ください。

募集期間 8月31日(休)まで



## 竹を使って作ろう！遊ぼう！

市内の竹を使って、竹トンボや水鉄砲などを作って遊び、生物多様性や自然の恵みについて学びます。

対象 市内在住の小学生とその保護者

日時 8月13日(土)午前10時～正午

会場 野津田公園

工作指導 建設ユニオン多摩支部

定員 30人(申し込み順)

申込方法 8月2日正午～7日にイベントダイアル(☎724・5656)またはイベシスコード220802Dへ。



イモトジセセリ



ツバメ



タマゴタケ



オオムラサキ



ミホシアマガエル



カラスツリの花



ミミズ



ヒガシミホシカゲ



ヤマユリ



カササギ



ウツガミ

「まちピカ町田くん」に届いた生きものの写真です

1面のクイズの答え 【第1問】 オニヤンマ 【第2問】 いる(ホソミイトトンボなど) 興味を持ったら調べてみよう！

市内のみどりや生きものについて、もっと知りたい方は、こちらをご覧ください！



# 『生物多様性』って何だろう？

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。生物多様性によってもたらされる自然の恵み(食料や大気、水、気候の安定など)は、私たちの命や暮らしを支えています。

施策の推進を図る中で、生物多様性の保全、自然や生きものとの共生を進めるための取り組みを行っています。また、市民が主体となったさまざまな取り組みも行われています。

問 環境共生課 ☎724・4391

## 活動紹介 市民が主体のつくし野ビオトーププロジェクト

つくし野ビオトーププロジェクトは、地域の子どもたちに、身近に残された自然や生きものと触れ合う実体験プログラムを提供し、さまざまな命や環境の大切さを学ぶ活動をしています。畑での継続した作物栽培、森での学習や遊び、プールのヤゴ救出など多様に実施しています。



活動の様子はこちら

## 活動団体の小池常雄さんにお話を伺いました

子どもたちに自然や生きものとの共生を伝えていくうえで、意識していることはなんですか？

地球はヒトだけの物ではない、生きものすべてがたった一つだけの地球という宇宙船に乗る乗組員だと子どもや保護者に伝えています。私たちは普段から、空気を吸い、食べ物を食べ、自分の命を保っていますが、これらはすべて地球のさまざまな環境や生きものの恩恵です。自分の命が、何に支えられているのかを知ることが大切です。活動では、身近な生きものの飼育・注意点なども丁寧に教え、生きものと接する方法を支援しています。

### 自然や生きものと、共生していくために

私たちが住む町田市は、大都市郊外にある都市であり、身近な自然環境が都心に比べればはるかに豊かです。市街地や住宅の中でも、多様な生きものがヒトの営みや、ヒトが作った環境をうまく使いながら暮らしています。それらを、家庭や学校、地域で知り接する実体験の中で経験し、感じる事が大切です。



## 参加者の声

活動を通じて、虫や鳥が大好きになりました。

自分たちで畑に苗を植えるところから収穫まで体験することができて、生物や自然のことも楽しく分かりやすく学べます。

生きものと触れ合うと自分が優しい気持ちになり、人に対しても優しくできるような気がします。

持ち帰ったヤゴが全部トンボになれるわけではないので、飛んでいるトンボはとっても大事なんだ。来年も子孫に会えるように、水辺をきれいに保ちたいと思いました。

## その他の取り組み

他にも市内各地域で、生きものやそのすみかを守る活動を行う団体があります。



詳細はこちら

## 動画で知ろう

町田市公式動画チャンネル「生きものとの共生を目指して」で、市内の生きものやそのすみかを守る活動の様子を紹介しています。



詳細はこちら

## イベント まちだで見つけよう！夏の生きもの探しキャンペーン♪

紹介 ～ミッションをクリアし、報告せよ

市では、スマートフォン専用アプリ「まちピカ町田くん」を使用し、皆さんから野生の生きものの写真と位置情報を投稿していただく調査を行っています。

期間中、出題しているミッションの生きものを撮影し投稿した方の中から、抽選で50人に記念品を差し上げます。  
※ルールやマナーを守って撮影しましょう。



### ミッション

- A まちだのトンボを探せ！
- B キラキラ、びかびか、ツツツヤ…輝く生きものを探せ！

参加方法 「まちピカ町田くん」を使って、生きものの写真と見つけた場所の写真をセットで報告。  
※詳細は市HP(右記二次元バーコード)をご覧ください。

募集期間 8月31日(休)まで



## 竹を使って作ろう！遊ぼう！

市内の竹を使って、竹トンボや水鉄砲などを作って遊び、生物多様性や自然の恵みについて学びます。

対象 市内在住の小学生とその保護者

日時 8月13日(土)午前10時～正午

会場 野津田公園

工作指導 建設ユニオン多摩支部

定員 30人(申し込み順)

申込方法 8月2日正午～7日にイベントダイヤル(☎724・5656)またはイベシスコード220802Dへ。



イモトジゼミ



ツバメ



タマゴタケ



オオムラサキ



ミホシアマガエル



カラスツリの花



ミミズ



ヒガンミホシトカゲ



ヤマユリ



カササギ



ウツガミ

「まちピカ町田くん」に届いた生きものの写真です

1面のクイズの答え 【第1問】 オニヤンマ 【第2問】 いる(ホソミイトトンボなど) 興味を持ったら調べてみよう！

市内のみどりや生きものについて、もっと知りたい方は、こちらをご覧ください！

